

「SDGsアウトサイド・イン」公式ワークショップ認定ファシリテーター養成講座

FAQ

更新日:2022/12/8

■実施方法について

質問:オンラインとオフライン、どちらの実施がいいですか。回答:どちらでも実施可能ですが、オフラインの方がよりコミュニケーションが取れるので、参加者の満足度も高いです。オンラインでもオフラインでも、できるだけファシリテーターが各グループを回り、議論を活性化してください。

質問:自社以外の場所で実施するのはどうでしょうか。

回答:自社オフィスではなく、違う環境でやるのも良いと思います。服装もカジュアルにして自由に議論できる工夫があっても良いかもしれません。

■事前準備について

質問:参加者はSDGsやサステナビリティについてどの程度の事前知識が必要ですか。

回答:深い知識は必要ありませんが、事前にSDGsの基礎が学べる[CSR検定4級](#)のテキスト購読や受験をお勧めします。SDGs17ゴールだけでなく、オルタナが事前配布する「SDGs 169のターゲット」の資料をお読みいただくことも推奨しております。

■実施する対象について

質問:他社と実施をする場合にポイントやアドバイスがあれば教えてください。

回答:ポイントは「アイスブレイク」です。なぜこの両社がワークショップで合流するのか、ちゃんと説明した上で、お互いの自己紹介+趣味紹介をお勧めします。「アイスブレイク」がしっかりできたら、「半分成功」です。あと、最後のブレストは、自社の事業紹介に終わらないこと。現状を語るのではなく、「未来を想像する」感じです。

質問:経営層向けにワークショップを実施する場合、新しい提案やアイデアが出にくいと思います。

回答:経営層のファシリテートは難しいです。そのため、専門家やオルタナ編集長の森など外部の人材を入れるのが良いと思います。

質問:異業種でワークショップを開催しても良いのですね。

回答:異業種によるワークショップの方が創造的になります。同じ地域や取引先などとやるのが良いです。パイロット企業は自社でも他社でもどちらでも良いです。

■講義について

質問:SDGsとESGについて、違いや関係があまり理解できていません。

回答:この点については講義資料に記載しました。

■ワークショップ(WS)後について

質問:グループディスカッション後、その後につなげるためにはどのようにアドバイスしたらいいですか。

回答:社内WSの場合は、出てきたアイデアについて経営層にフィードバックをもらうことが望ましいです。更には、社内のアイデアコンテストに「アウトサイド・イン」の発想を盛り込むと良いです。

質問:競合他社が少なく、新規事業を生み出すというより現状に満足してしまっている状態です。どのように上層部を説得するのがいいでしょうか。

回答:マーケットインのベクトルを伸ばすことで、「アウトサイド・イン」につながり、社会ニーズの創出に繋がります。株主の見方も変わりつつあり、機関投資家、一般株主から見られています。投資側の視点も変わってきているので、何が他社と違うのかストーリーを説明していく必要があります。

■全体発表・まとめについて

質問:全体発表後の講評(ラップアップ)が重要だと思いますが、どの様な方に講評をいただくのが望ましいですか。

回答:ラップアップは、上司が私見と経験を交えながら、まとめていけば良いと思います。